



学びのアップデート

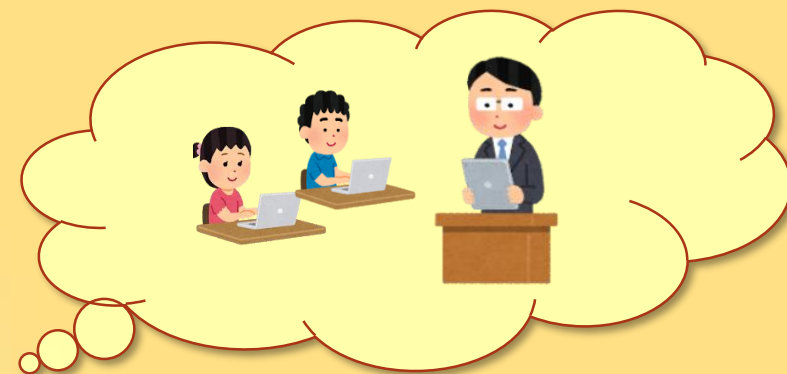
Learning Updates



- **登校はできないけれど、授業は受けたい** ～病気などによる長期欠席者に対する支援～
- **中核教員が中心となり学校全体でデジタル利活用を推進する**
- **夏休みのまとめポートフォリオ**
- **オンラインで生徒総会** ～離れた場所でも会議や交流活動をする～

■ 病気などにより長期欠席している子供の思い

授業、進んでいるんだろうな。  
オンラインで受けたいな



病気等により小・中学校に登校できない子供の中には、**持ち帰った端末で学習を続けたい**と希望する子供もいます。  
よい手だてはないでしょうか。

次のページで、区市町村の事例を紹介します。

■ 病気などによる長期欠席者に対し、デジタルを活用して学びを継続する

渋谷区

- TeamsやOneNote等を活用し、**授業の配信や課題の配布・回収**を行っている。
- Teams等を活用し、**登校していない者もグループ討議に参加**できるようにしている。
- 学習者用デジタル教科書（+連携教材）で**セルフラーニング**を行っている。



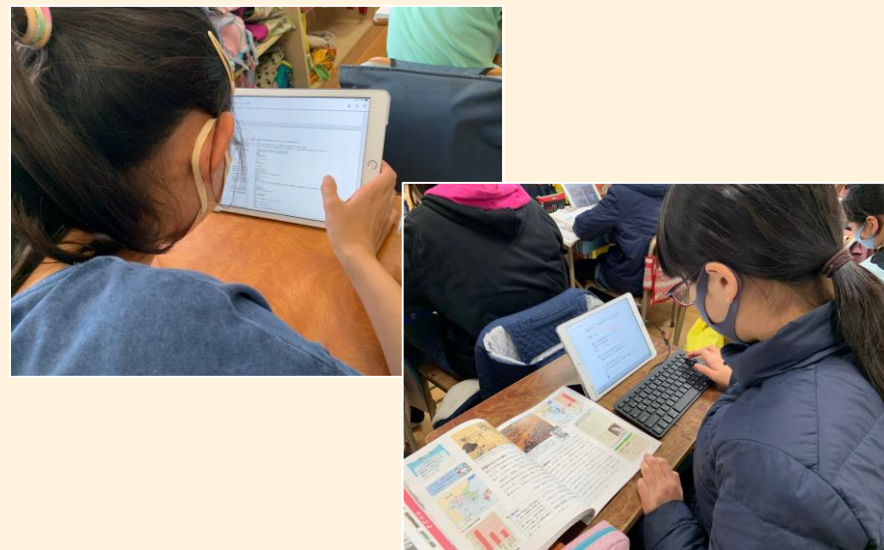
練馬区

- Web会議システムで**授業中の黒板を配信**する等の学習支援を行っている。
- NHK for School等のURLを配信し、**学習動画を視聴**させている。
- 区で一括購入している**AIドリル**や、Google Classroom等で**課題を配布**している。



三鷹市

- 端末を使い、**登校していない子供も含めて意見交換**をしている。
- **教員が動画を作成**し、配信している。
- 放課後等、**児童と画面を通して担任と会話**する。
- **授業及び講演会等の行事をオンラインで配信**する。
- Google Classroomを活用して**情報を共有**する。



東京都「オンライン学習等の実態調査」（令和4年4月実施）より

子供たちの学びを止めないため、できることから始めてみませんか

## 第2回「教育イノベーションを実現するための中核教員向け研修」で出されたアイデア

学校における**デジタル利活用を一層推進**するため、中核教員による校内での働きかけについて、研修で具体的なアイデアが多数発表されました。その一例を紹介します。



### 学校のデジタル利活用を推進するためのアイデア

#### デジタル利活用を促す事例

〇〇先生！アンケートは**フォーム機能**が早いですよ。すぐ集計できます！

**ペーパーレス**会議で**準備時間を大幅に短縮**できますよ。

**フォームを活用した欠席連絡**なら、朝の時間を有効活用できますよ。

#### 管理職に提案する事例

##### (中核教員)

「校長先生ご相談があります。うちの学校のデジタル化を一層推進するため、**チームづくり**ができればと考えました。」

「**ICT担当を複数名**、例えば学年や教科ごとに1名ずつ選んでチームとして組んで、授業研究と横展開を進められればと考えています。」

##### (校長)

「いいですね。主幹や主任の先生方を集めて会議を開きましょう。私も応援しますよ。」



**この2学期にさらなるデジタル化を進めるために、効果的な声掛けや新しい組織の提案など取り組んでみませんか**

## 夏休みの記録を生かして、まとめる力や情報を発信するための力を育てよう

夏休みの宿題等をICTを活用して、ポートフォリオにするとともに、  
**これからの時代にふさわしい、デジタルによる効果的な発信**の練習をしてみましょう。

ポートフォリオとはもともと「紙ばさみ」という意味で、画家が自分で描いた絵をストックしたものを指しています。情報をとりまとめて整理したり、学びを振り返ったりするために、ポートフォリオの活用に取り組んでみませんか。

### 効果的に発信するための三つのポイント

#### 夏休みの思い出

○年 ○組 ○○○○

思い出1 セミはおなかで・・・

おじいちゃんの家に行きました。公園に行くと・・・



思い出2 川のたのしみ・・・

家ぞくで川に行きました。川には小さい魚が・・・



思い出3 おまつりでつり・・・

近くのおまつりに行きました。金魚すくいをはまるでつり・・・



まとめ 330日後の夏休み・・・

今年はひさしぶりにおじいちゃんに会ったり、川やおまつりに・・・



**ポイント①** **キャッチーなタイトル**で目を引かせつつ、内容が分かるようにする。

思い出1 セミはおなかでないていた！

おじいちゃんの家に行きました。公園に行くと、セミがたくさんないていて、木にとまっていたセミをつかまえました。つかまえたセミをよく見ると、なくときにおなかをふるわせていました。調べてみると、セミは口からではなく、おなかでないていることがわかりました。



**ポイント②**  
**本文は130文字程度。**  
絵文字等を使えると良い。

**ポイント③** 文字だけにせず、**写真**などを**一つ**掲載する。

観察日記や学校行事の記録等のひな型を定め、学年・学校で共有しながら活用してみてもいいかな。

## 学校行事をオンライン会議ツールを活用して行う

2学期は、学校行事が多い期間でもあります。そこで、オンライン会議システムを使って、生徒総会を行った中学校の活用事例など紹介します。

### <期待される効果>

【児童・生徒】 **離れた場所にいる人との交流**を行うことで、交流に対する意欲が高まる。

【教師】 児童・生徒の**移動時間を削減**や**ペーパーレス**により、効率的な活動が行える。



「とうきょうの情報教育」では、この他にもたくさんの事例を紹介しています。アクセスしてみてください。

[https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/tokyo\\_rule.html](https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/tokyo_rule.html)



### 具体的なオンライン会議

#### <モデル事例> 生徒総会・朝礼等

- 議案書を**システム上で作成し、全校で画面上で共有**する。
- 発表者のみ集まり、質問者のやりとりは**離れた場所からオンライン**で行う。
- 主体的に**オンライン活用しようとする姿勢**へとつなげることができる。

#### <注意点>

- 発表者が発表している状況を把握するために、**端末を発表用とモニター用の2台用意**する方がよい場面がある。

学習指導要領に示されている資質・能力を育むには、指導方法、学習方法、学習環境等を更新し、最新のものにする必要があります。

また、Society5.0に向けて、ICT機器及び環境というハード面と、それらをどう利用していくか、授業そのものをどのように構成するかというソフト面の両方のアップデートが求められています。

そこで、これからの「学び」を最新のものに「アップデート」していただくことを願い、本通信のタイトルを『学びのアップデート』としました。東京都教育委員会のホームページにも後日掲載する予定です。

#### 学びのアップデート

Society5.0に向けた一人1台端末の活用のための実践事例通信  
第13号 令和4年9月2日発行 東京都教育庁総務部教育政策課